

「第69回北海道広報コンクール」実施要領

1 応募基準

(1) 広報紙（誌）

全戸配布（市町村の場合のみ）を目的に年に4回以上定期的に発行しているもので、臨時増刊号やグラフ誌及び有料販売のものを除く。

(2) ウェブサイト

- ・ 市町村のウェブサイトとして開設しているものに限る。
- ・ また、応募時点で公開されているもので、かつ令和5年（2023年）4月末時点で大幅なリニューアルをされずに公開されているものを全国広報コンクール推薦対象とする。
- ・ それぞれの団体の公式ウェブサイト本体を推薦対象とし、特設サイト、関連サイトだけを推薦対象とはしない。

(3) 広報写真

- ・ 全戸配布を目的に年に4回以上定期的に発行する広報紙（誌）に掲載されている写真（広報紙自体）で、団体の職員等が撮影したものを対象とする。
- ・ 一枚写真は、表紙及び記事ページで、写真一枚で表現しているものとする。

なお、表紙及び記事ページで、2枚以上の写真で表現している場合、そのうち1点を一枚写真として応募できる。2ページにまたがっている一枚の写真も応募できる。

- ・ 組み写真は、表紙及び記事ページ1ページまたは見開きページで、複数の写真で表現しているものとする。

※ 組み写真は、見開きの場合、2ページで構成されているものに限る。3ページ以上にまたがる組み写真の場合、そのうち任意の見開きページを選択すること。見開きは、表紙と裏表紙の場合でも可とする。一枚写真の中に別の写真を合成している場合、組み写真とする。

(4) 映像

30分以内の広報映像作品とし、スポット作品（CM作品）は除く。シリーズ物については、そのうちの1本とする。

(5) 広報企画

「広報紙（誌）」、「ウェブサイト」、「広報写真」、「映像」の各媒体・部門では評価できない戦略的・複合的な広報キャンペーンやプロモーション等の取り組みで、応募時点で公開されている広報企画を推薦対象とする。

※ 詳しくは令和4年全国広報コンクールの入選作品の審査結果を参照のこと。

2 応募方法

(1) 広報紙（誌）

応募作品及び調査票をそれぞれ10部提出する。

※ 審査の結果、全国広報コンクールに推薦されることとなった作品については、上記のほかに応募作品10部と当該作品の直前、直後に発行された広報紙をそれぞれ5部提出する。

(2) ウェブサイト

調査票を提出する。

(3) 広報写真

応募作品が掲載されている広報紙（誌）及び調査票をそれぞれ10部提出する。

（応募作品が掲載されている（広報紙（誌）の）頁に付箋を付けて提出のこと。）

※ 審査の結果、全国広報コンクールに推薦されることとなった作品については、上記のほかに掲載広報紙（誌）8部（該当箇所明示）と作品参考用として写真現物（サイズ自由）2点を提出する。

(4) 映像

応募作品を収録したDVD及び調査票をそれぞれ7枚提出する。

※ 審査の結果、全国広報コンクールに推薦されることとなった作品については、上記のほかに作品収録DVDを8枚提出する。

(5) 広報企画

企画書及び広報企画で展開した広報成果物を1セット提出するほか、調査票も提出する。

※ 作品の大きさ、イベント等、現物の送付が困難な場合は写真での提出も可。

※ 全国広報コンクールへの推薦のため、上記のほかに企画書及び広報成果物を8セット提出する。

3 応募上の留意点

- ・ 応募数は、それぞれの部門ごとに1点とする。
- ・ 応募作品には、応募用紙（様式1）及び調査票を必ず添付し、作品を送付する際には封筒の表面に「広報コンクール応募作品」と朱書する。（輸送中に作品が破損しないよう梱包する。）
- ・ 応募作品は、原則として返却しない。
- ・ 「広報紙（誌）」、「広報写真（一枚写真）」及び「広報写真（組み写真）」の複数の部門に応募する場合は、部門毎に封筒に応募作品と調査票を封入し、送付すること。（封筒には、応募部門、市町村名を記載すること）。

4 提出先

〒060-8588

札幌市中央区北3条西6丁目

北海道総合政策部知事室広報広聴課内

広報広聴技術研究会実行委員会

電話 011-204-5110